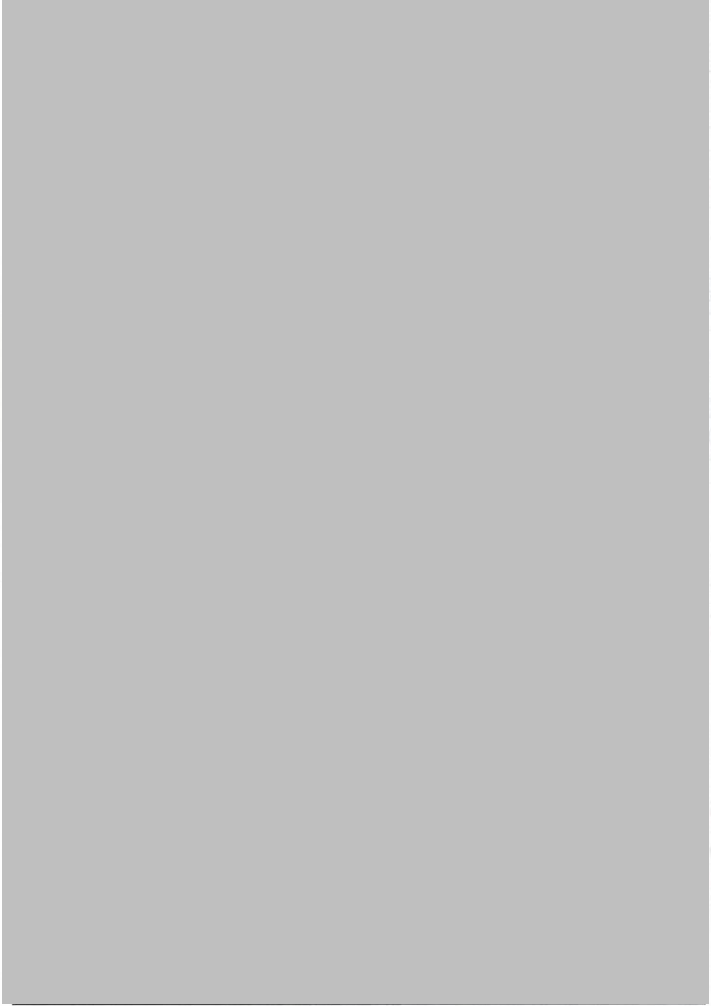


「広島経済同友会が創立60周年を迎えます。」

3月に創立60周年を迎えます。これを記念して、1月14日に記念式典を開催。10月には500人規模で「第114回 西日本経済同友会会員合同懇談会」を開きます。また、同年末をめどに「60年史」の発行も予定しています。このほか、人口回復のための婚活・交流定住や中山間地域の振興に関する調査、国内外視察を行います。これらを提言や報告書として発表し、広島経済同友会版総合戦略としてまとめる予定です。池田晃治代表幹事と共に、統一テーマ「輝け！ひろしま」の実現へ向け、オール同友会で力を尽くします。『ものづくり広島の継承と発展が求められています。』



既に地元企業では社内で熟練工が若手に指導して技能伝承を図っていますが、1つの企業が単独でやるのは限界があります。また、手に職をつけたい若者や子どもを増やすことが必要ではないでしょうか。車や船、家具、家具、鑄造など、さまざまな分野で楽しく体験学習ができる工房を設け、子どもたちに、ものづくりへの関心や憧れを抱かせることが最



重要だと思っております。昨年視察した福岡県北九州市には「産業技術保存継承センター 北九州イノベーションセンター」という施設があります。展示・資料保存スペース、金属や木材加工、溶接コーナー、3Dモデル設計室などを備えています。市民向けのシンポジウムやフォーラムをはじめ、電子工作教室、製鉄本操業体験、3Dプリンターによるネー

ムプレート作りなどを数多く開催。従来型のものづくり分野で新しいイノベーションを創出する、若い力の育成に役立つようです。

「広島島の将来展望」について。

15年は被爆70周年でした。みんなが戦争や核兵器使用の悲惨さを改めて認識し、亡くなった方々の慰霊と平和への祈りをささげました。今後悲劇を繰り返さぬよう平和の尊厳を訴え続けるとともに、これからは「未来志向の広島」を目指してほしい。例えば中世以降の歴史紹介や、この間に育まれた文化風習などを展示する施設が市中心部に欲しいですね。平和公園で平和の大切さを学んだ後に同施設を訪れて、原爆投下から懸命に立ち上がり復興してきた人々の心意気、地域のたくましさや活力、現在の明るい街並みやおいしい食べ物に触れて、「また来ようね」と思いつつ広島を後にしてほしいのです。知の拠点である中区東千田町かいわいには、若者がかつ歩する新しい形の大学群が集積してほしい。